



神羅から戻ってきて
一年がたちました

OPEN

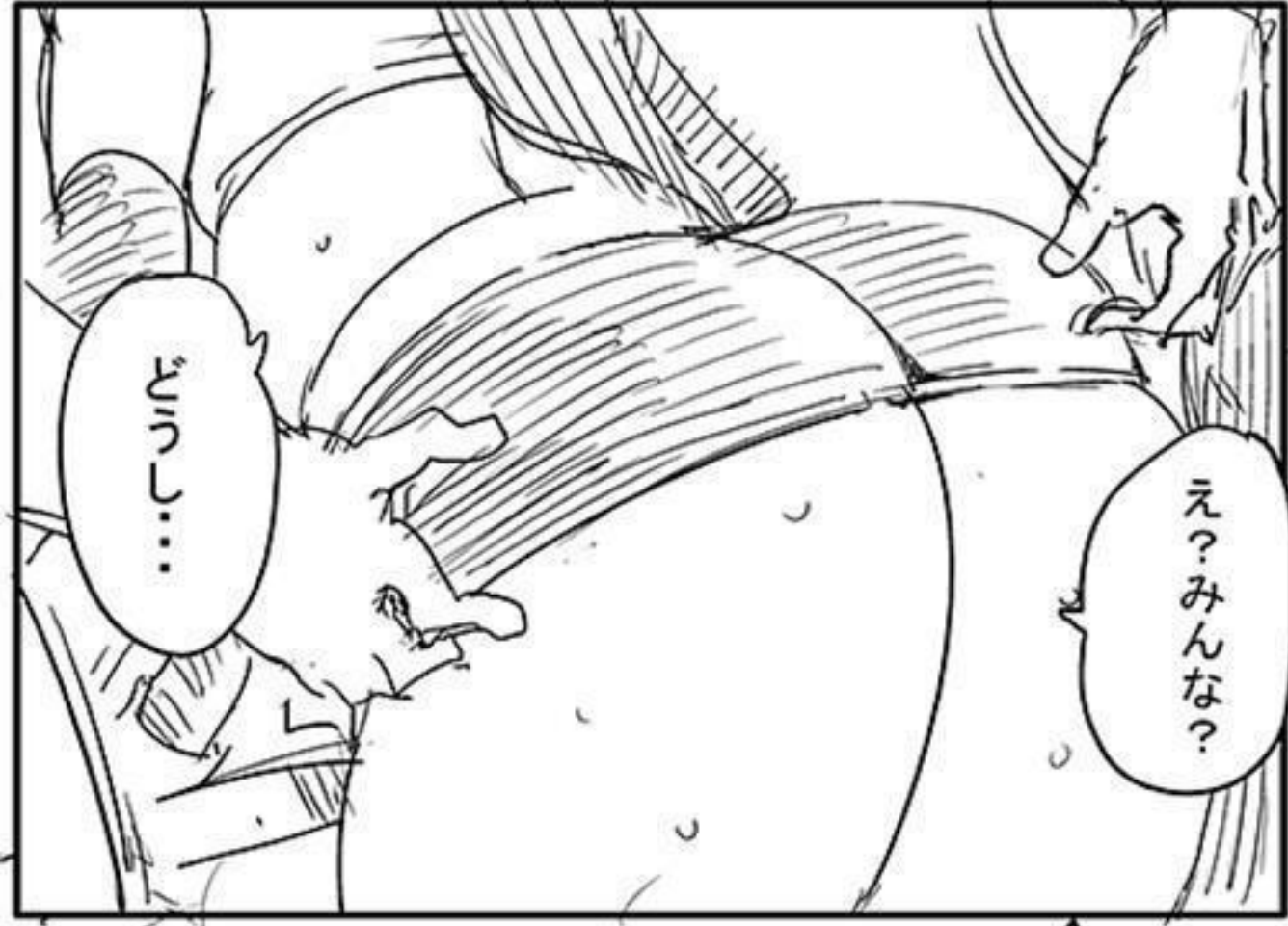
さよーんませー

おいしい、ごち
酒のおかわりだ！

体の調子も良くなり
セブンスヘブンの
ウエイトレスに
復帰していました。

はーい...

でも
そんな幸せの日々は
長くは続きませんでした。



え？みんな？



元の生活に
戻りかけていた
ある日



きゃあきゃあきゃあ！



これで
みんな
で楽し
もうよ。



やだあ！

^^
^^
^^
魔晄中毒らしいねえ

私が神羅で犯されまくり
魔晄中毒になってる事は
みんなに知られていた。

剥け!!
剥け!!

店の常連たちで
そんな私を
犯す計画を
立てていたらしい

魔晄中毒者の
精液

これで
セックスしか
考えられなくなるぞしい。

早く
注入しちまえよ!
抵抗してるぜ!

うひよおお
すげえ
いい体だぜ

男たちに
押さえつけられれば
さすがの私も
抵抗ができませんでした。

ダメダメダメ!

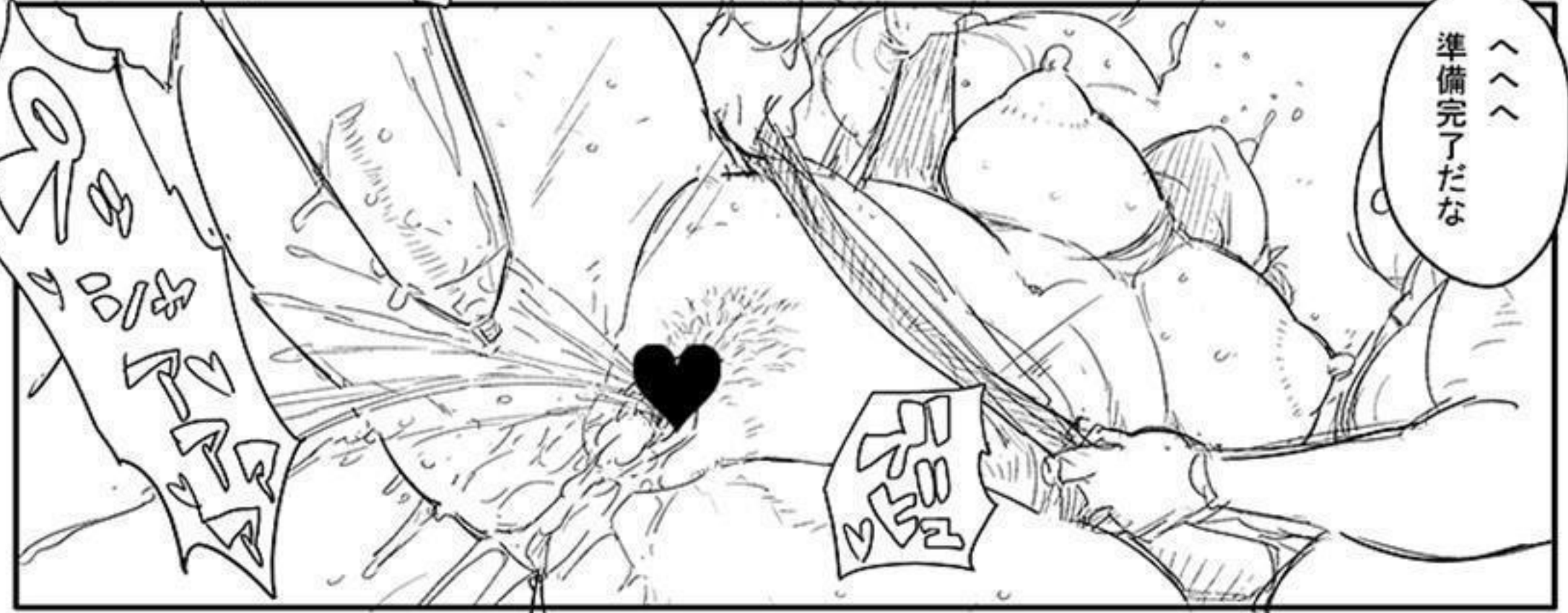
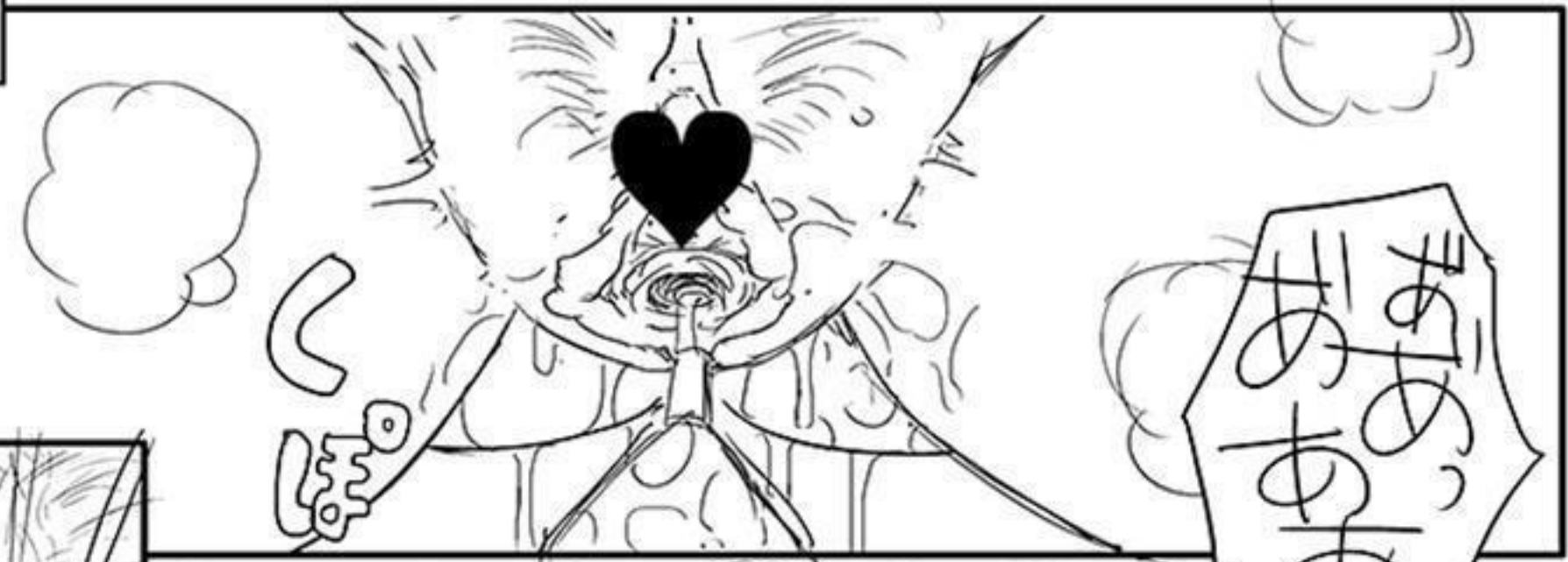
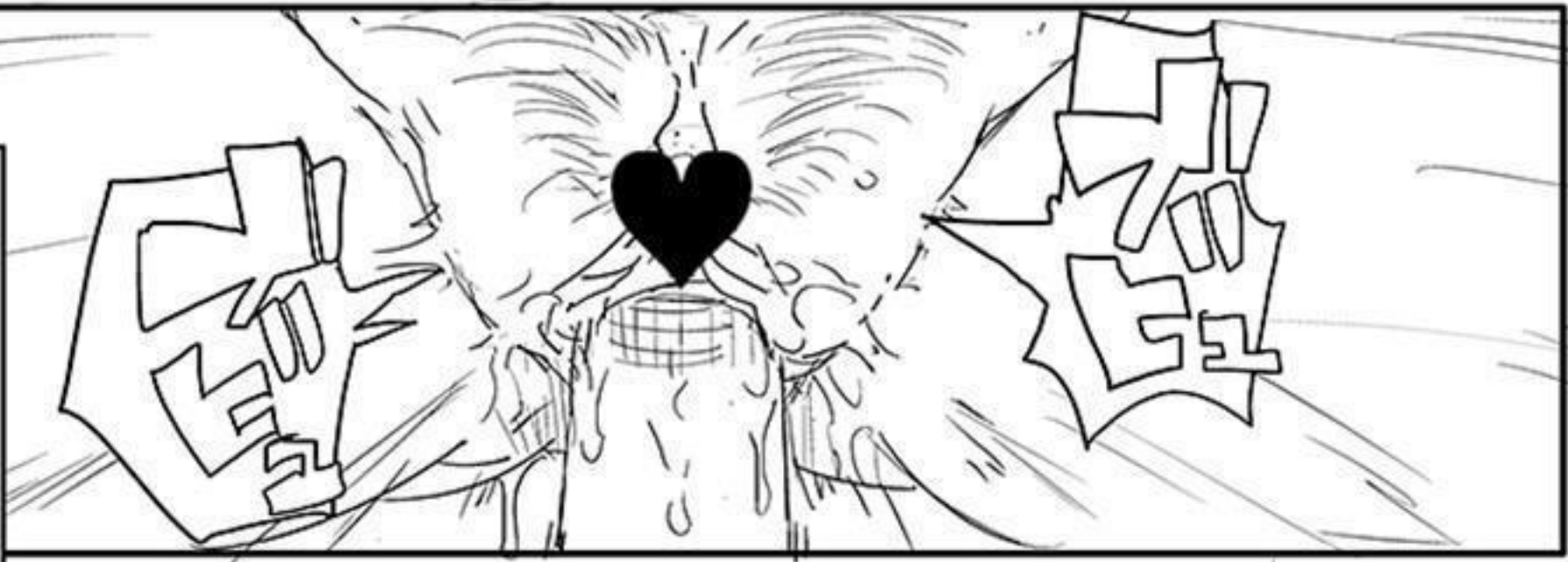
また戻っちゃう!
あの時みたいに

セックスしか
考えられなくなる

まよ
まよ
まよ
まよ

魔晄中毒者の精子を
性器に注入され
無理矢理、中毒症状を
発症させられてしまう。

中毒症状を発症した体は
性感帯の感度が増し
空気につれるだけで
感じてしまう

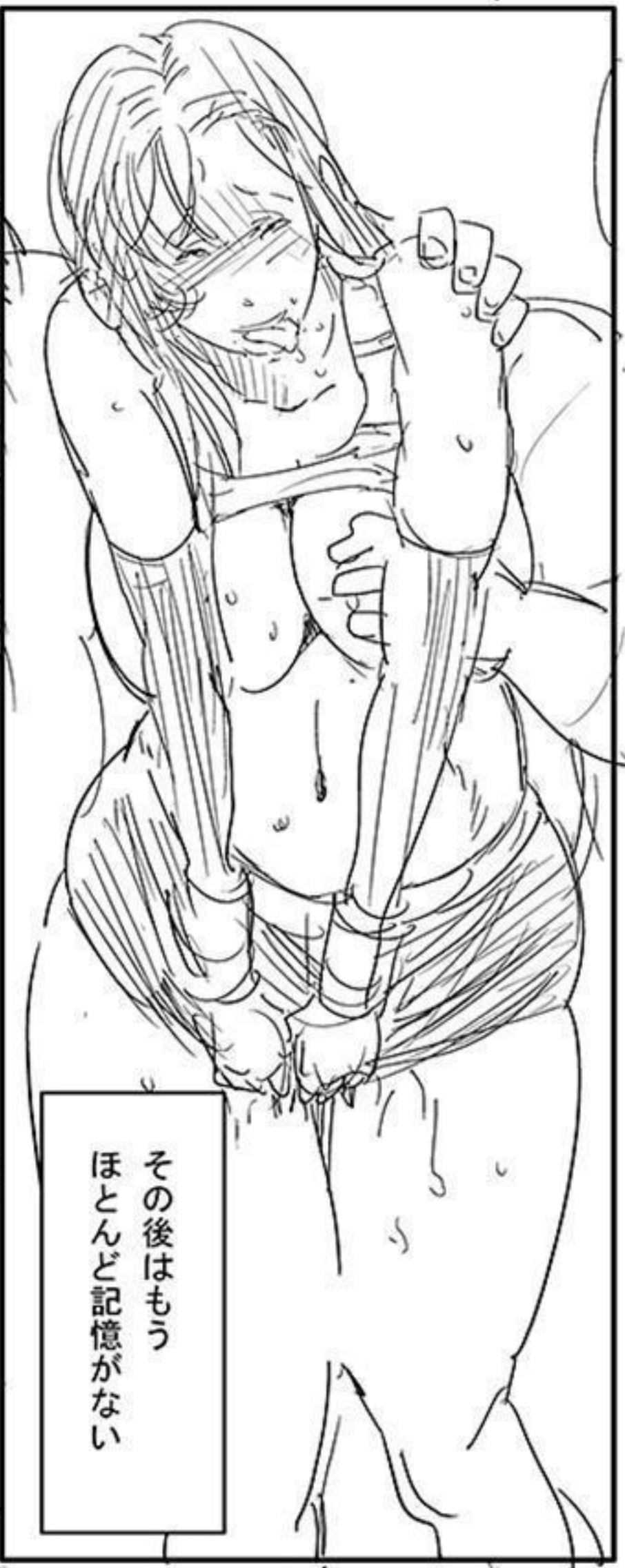


^^
^^
^^
準備完了だな

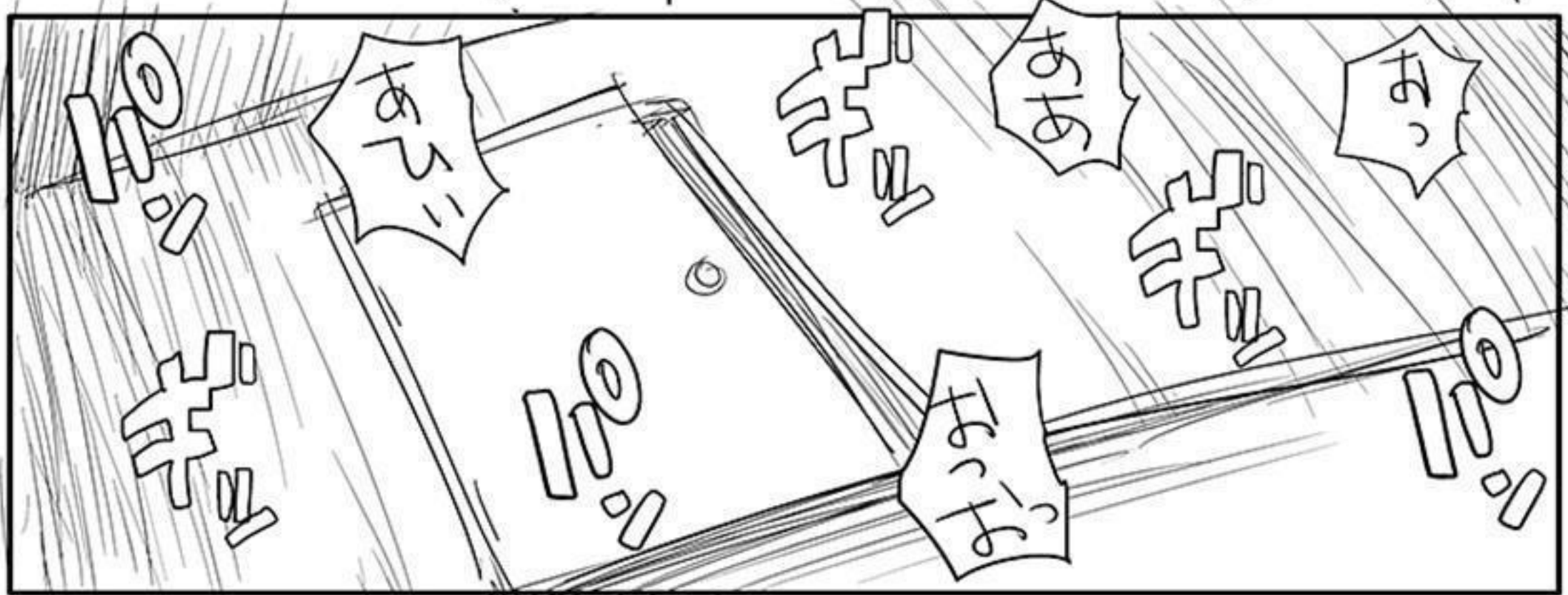


男たちに連れられ
セブンスヘブンの
2階の部屋へ

そこは
彼との
愛の巣でした……



その後はもう
ほとんど記憶がない



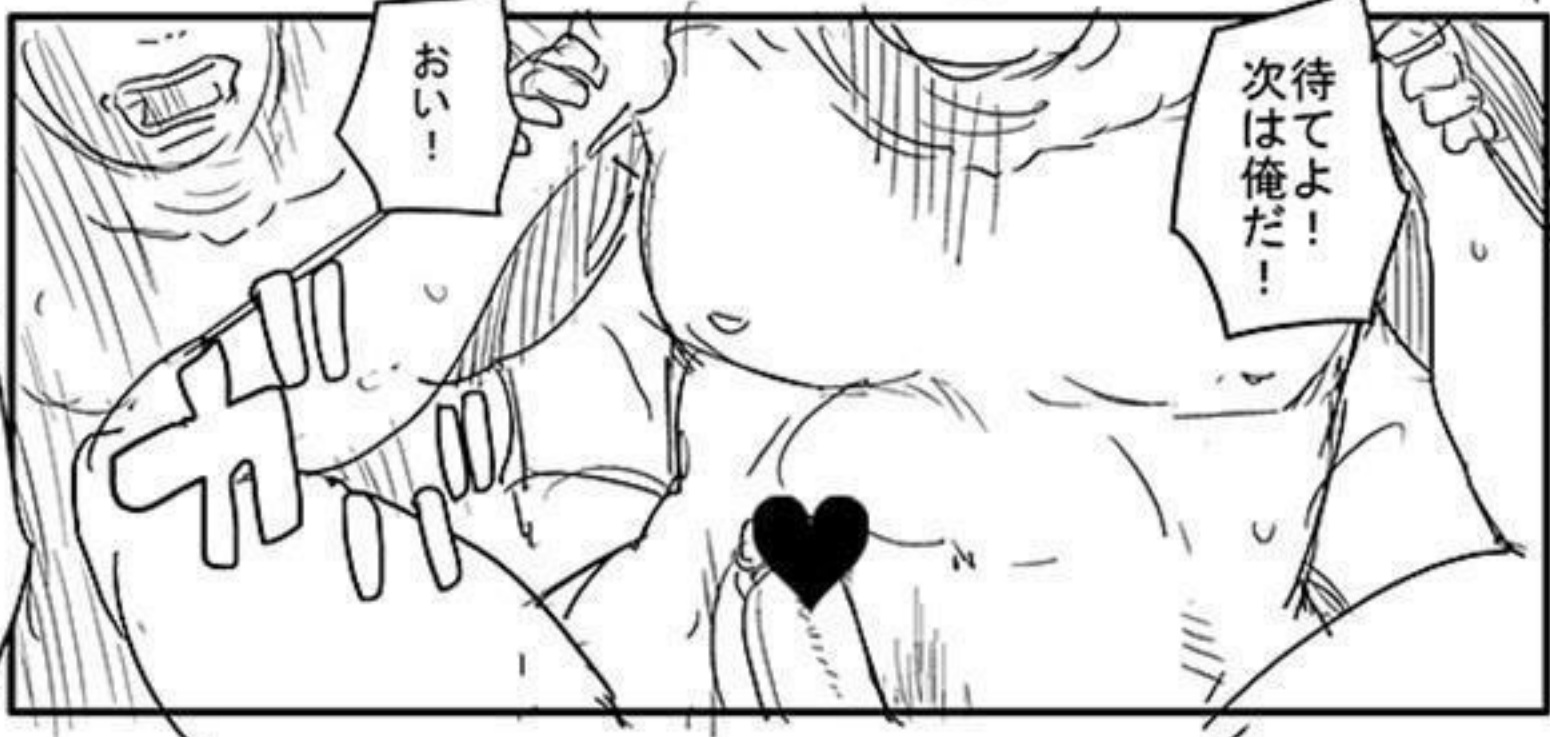
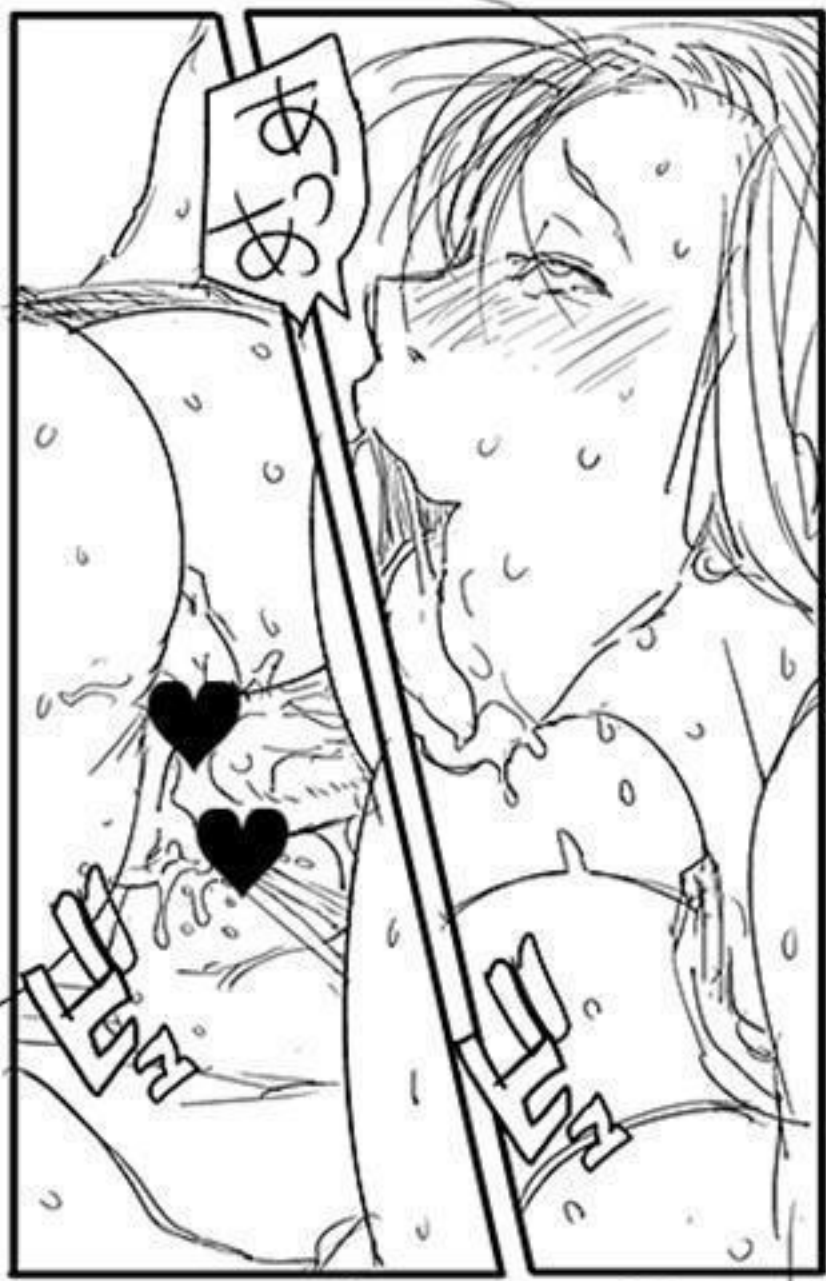
ああん！すごおおい！
彼のより
大きいのお！
ズボズボはめてえ！

よ、よろし
今日は彼氏の代わりに
いっぱい種付けして
やるからなあ！

彼が
帰ってきていた事も
知らずに



あーん
♡♡





確実に
孕ませてやる

子宮にだすぜ

いいわ！きてえ
彼じゃ、届かないのお



あひ
い
い



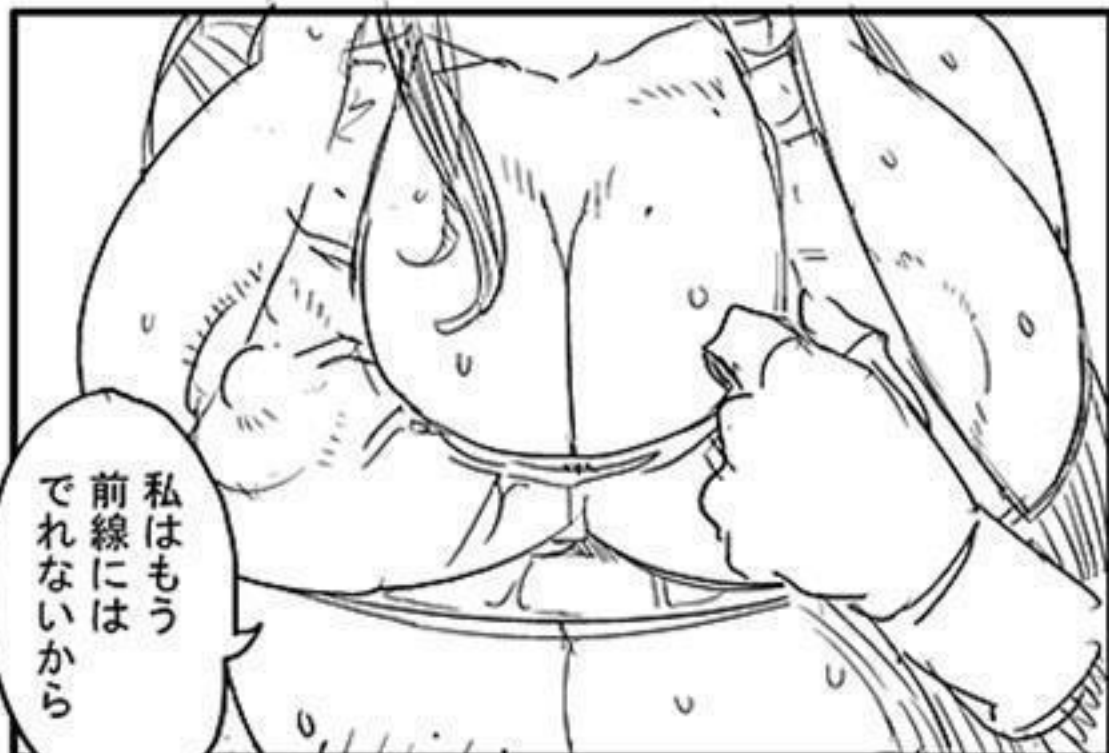
あひ
い
い

あひ
い
い



さよならだ...

その日以来
彼がここへ
戻ってくることは
なかった。



私はもう
前線には
でれないから



アバランチの
新隊員の方ね？

ムクリー



気が済むまで
種付けしていいわよ

作戦前は
うずくでしよう？

彼がいなくなり



魔晄中毒の疼きを
慰めるために

こんな事しか
できないけど…
ね…



男たちと
体を重ねた。

あ、

あ、

あ、

あ、

あ、



私に意思とは関係なく
彼らは
やってくるようになった

へへへ
どうせもう
我慢できないんだろ？

あなたたち！
勝手に…！

あ！



他のみんなが
作戦に行ってるうちに
やっちまおうぜ

へ
へ
へ

彼との愛の巢は
今は
アバランチ専用の慰安所に
なっていた。

あつ！
ま〇こ

ま〇こが
いいのが

まじで
巨大なオナホだぜ

アバランチ
最高だぜ

ニホ
ニホ

ニホ
ニホ

